

# 不妊専門相談センター

北海道では、不妊に悩むご夫婦などを対象に、不妊に関する専門相談をお受けしています。

不妊専門センターでは、不妊治療の専門医が、具体的に不妊症に関する診断や治療のこと、不妊治療を受けた方が良いかどうかなど相談者の状況を判断しながら専門的な相談に応じています。

例えば次のような相談に対応しています。

- 結婚して、2年以上経つけど、子どもができないの。不妊症なのかしら。
- 不妊症と年齢って関係あるのかしら。
- 不妊症の検査や治療ってどんなことをするの？体外受精を勧められたんだけど。
- 不妊治療をしても妊娠できないこともあるの？
- 近くに不妊治療をしてくれる病院は？
- 子宮内膜症の治療を勧められているけど、将来、子どもができるどうか心配。
- 今の治療のままでいいのか心配。他の先生の意見も聞いてみたいわ・・・

などお気軽にご相談ください。

## ◆相談窓口◆

### 旭川医科大学病院産婦人科

- 住 所  
旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号
- 電 話  
0166-68-2568

## ◆専門相談日◆

毎週火曜日 11:00～16:00

- 専門相談は、旭川医科大学の不妊治療の専門医師が担当します。
- 予約受付  
月～金（10:00～16:00）



◆各道立保健所においても不妊に関する相談を受けております。

◆その他道内の不妊専門相談センター

札幌市不妊専門相談センター（札幌市民対象）

専門電話：011-511-4500

## ● 不妊症とは

妊娠が可能な年齢にあるご夫婦が、避妊をせず普通に性生活を営んで、2年以上経過しても妊娠しない場合をいいます。

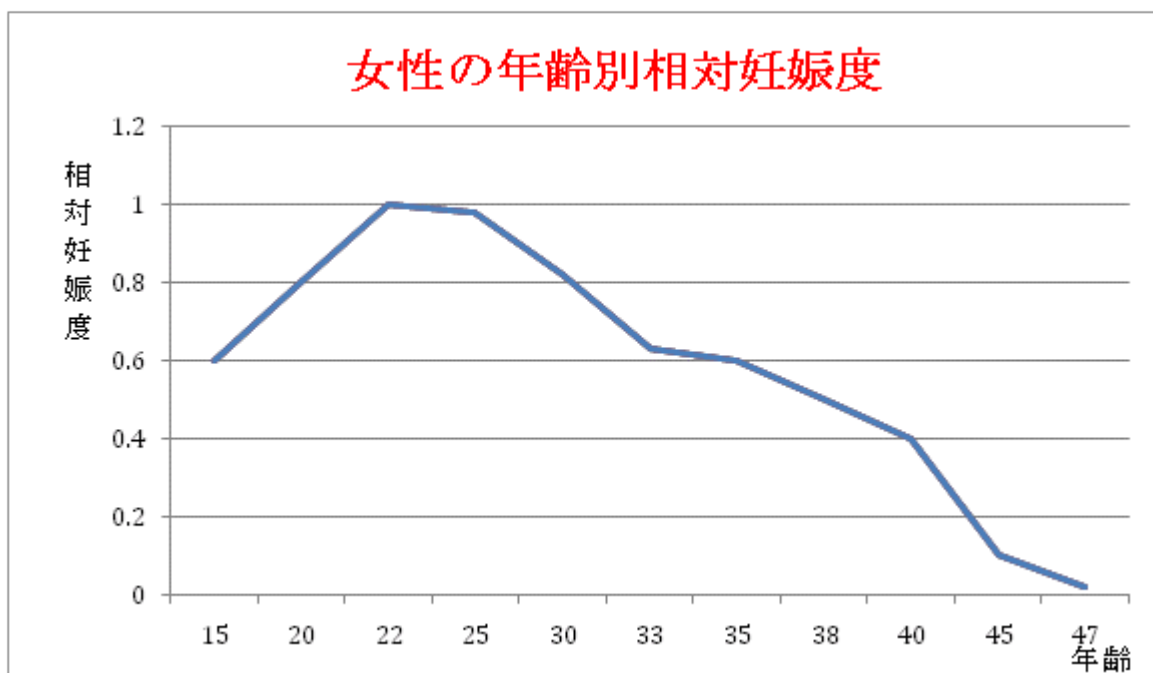
- 晩婚化に伴い、妊娠を望んだときに妊娠しにくくなっていることが多くなっています。
- 不妊カップルは約10-15%で、増加する傾向にあるといわれています。
- 北海道（札幌市・函館市・旭川市を除く）では、平成22年度に**特定不妊治療費助成事業**（体外受精・顕微授精が対象、所得制限あり）を受けられた方は700名以上となっています。
- 不妊症の原因には、女性側の原因ばかりではなく男性側の原因も多く見られます。  
不妊相談専門センターの旭川医科大学のデータ（1997-2001年）では、男性側に原因が約24%、男性・女性両側に原因が約24%、約半数に男性側にも原因があったとの報告があります。

## ● 不妊症と年齢の関係

次の表は、年齢による妊娠のしやすさを概ね示したものです。

22才頃をピークに、年齢の増加とともに妊娠のしやすさは低下し、35才で妊娠のしやすさが6割程度となっています。

お子さんを早くに望まれる場合は、結婚された年齢によっては妊娠しにくくなっていることから、不妊症といわれる2年以上の経過を待たずに、専門の医師に相談することをおすすめします。



## ● 不妊症の検査

不妊症の原因は様々で原因もはっきりしないことが多くあります。

そのため、ご夫婦の卵子や精子の状況を判断し、適切な治療方法を選択するために、様々な検査が行われます。

一般に、女性では、卵胞の大きさやホルモンの値の計測、ホルモンの働きの具合など排卵や排卵日の診断の検査及び、不妊症の原因となる疾患が無いかを検査します。

男性では、精子の数や精液量等の検査、ホルモン検査等が行われます。

更に詳しい検査を行いながら、最も適切と思われる治療方法を検討していくこととなります。

## ● 不妊症の治療

不妊症の治療としては、原因が明らかな場合は、その原因となっている病気の治療を行いますが、ここでは、原因がはっきりしない場合の一般的な治療の流れをご紹介します。

### ○ タイミング指導

妊娠しやすい時期を予測し、性生活のタイミングを指導する方法です。

### ○ 薬による排卵の促進と人工授精

排卵誘発剤を使って、卵巣を刺激し、排卵を促します。

排卵のタイミングに合わせて、夫の精子を妻の子宮内に注入する人工授精が組み合わせて実施されることがあります。

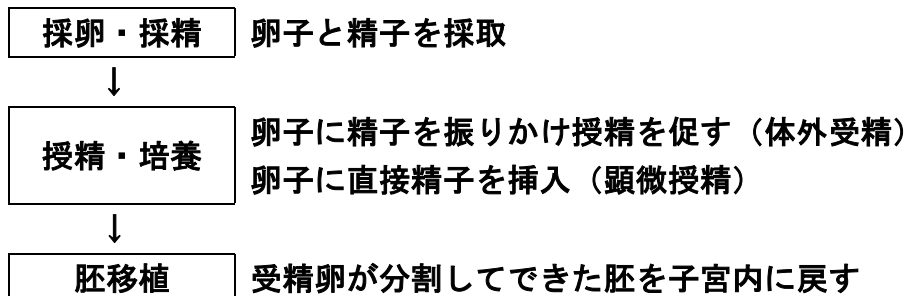
### ○ 体外受精・顕微授精

人工授精を試みても妊娠しない場合に、体外受精・顕微授精が適応されます。

例えば

- ・ 両方の卵管が閉塞している場合
- ・ 長期不妊（原因不明・免疫性不妊）
- ・ 男性の原因（精子が極端に少ない） 等

治療の流れとしては、次のように行います。



- 不妊治療を受ける前に

不妊治療を考えるときに、まずはご夫婦が同じ考えで治療に臨まれることが、最も大事なことです。

治療を行っても、必ずしも良い結果が得られるとは限らないことから、時間や経費のリスクもかかり、精神的に落ち込んだり、治療に気持ちが向かなくなることもあります。

そのようなときに、ご夫婦が正しい知識と情報を基に、協力しあう関係が、大変重要となってきます。

不妊専門相談センターでは、ご夫婦が抱える問題に適切に支援できるよう、専門の医師が相談に対応しています。

～不妊症かもしれないと思ったときには、是非、ご相談ください。～